

業務体制および関連する資格や免許等の取得状況：システム情報工学等技術室

飯高 稔、北原 その美

筑波大学システム情報工学等技術室

〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1

1. 技術職員の業務体制

筑波大学システム情報工学等技術室では、図 1 に示す組織体制により技術支援を行っている。2 グループ 4 担当体制とし、まとめ役として技術室統括と副統括を置いて技術室の運営を行っている。情報技術関連の業務を主に対応する情報環境技術グループ、ものつくりと安全衛生関連の業務を主に対応する装置開発・安全衛生管理グループの 2 グループで構成している。情報環境技術グループにはシステム管理担当とアプリケーション担当の 2 担当を、装置開発・安全衛生管理グループには、装置開発担当と安全衛生管理担当の 2 担当を置く体制としている。

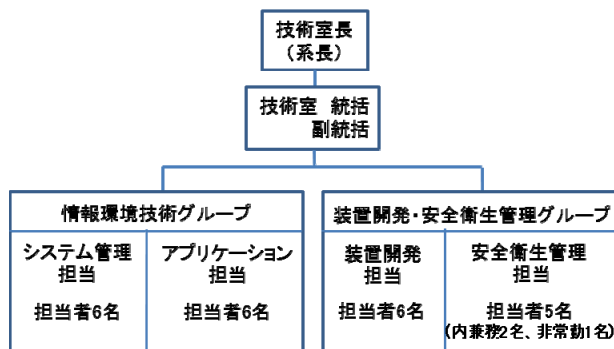


図 1. システム情報工学等技術室組織体制図

システム管理担当では、情報ネットワーク、計算機システムの管理、総合研究棟 B 関連の情報機器管理、デジタルサイネージの運用管理、掲示板システム（研究科・系、支援室、技術室構成員への情報発信）の運用管理などを行っている。

アプリケーション担当では、アプリケーションリソースの整備・維持管理、総合研究棟 B 入退室システム管理、貸出ソフトウェアのライセンス管理、掲示板システム（同上）の運用管理などを行っている。

装置開発担当は、研究実験用の装置・機器の開発、専門技術を要する研究実験等の支援、各種設備の操作・管理を行っている。

安全衛生管理担当は、安全衛生管理に係る職場巡視、全学の安全衛生管理関連業務の支援、安全衛生管理に関する企画立案を行っている。

研究科（系）全体に係る業務並びに教育に係る業務（学類並びに大学院関連の授業、学群教室メディア設備の管理）の対応については、担当あるいはグループを越えてチーム対応型の支援を行っている。

当技術室では、技術室の円滑な運営のため、技術室連絡会議、担当リーダー・ミーティング、担当ミーティング（適宜）を開催している。

技術室連絡会議は定例で毎月 1 回開催し、全技術職員並びに技術室長（系長）、システム情報エリア

支援室長、同副室長（総務担当）が出席する。会議の内容は、学内外における技術職員関連情報の周知、経費執行状況報告、活動報告、技術室運営に関する提案、検討等である。進行は技術室統括が担当する。担当リーダー・ミーティングは、毎月初めに行い、技術室運営に関する報告・検討、意見交換、また適宜新規の業務や共通対応の業務依頼に関する調整等を行っている。

また、室員の技術向上のための取り組みとして、業務に関係する各種セミナー・講習会の受講や学内外の技術職員関連の活動への積極的な参加を推進している。技術室内においても各担当専門の勉強会、担当を越えた勉強会を実施している。

2. 技術職員の資格や免許等の取得状況

技術職員の資格及び免許の取得状況は、表 1 のとおりである。業務を行う上で必要な資格としては、第一種衛生管理者、高圧ガス製造保安責任者、自由研削砥石の取替等の業務特別教育講習、クレーン運転業務特別教育講習、玉掛技能講習、アーク溶接の業務に関する安全衛生特別教育などがある。業務に関連する資格としては、情報処理技術者、電気工事士、建築士をはじめ多くのものを取得しており業務の遂行に役立てている。また、学内外の技能講習会や研修にも参加して質の高い業務を目指している。

表 1. 資格や免許等の取得状況 2012.12 現在

免許（免状）・試験合格・講習（特別教育講習） 修了証等	取得数
玉掛技能講習	5
クレーン運転業務特別教育講習	5
天井クレーン定期自主検査者安全教育講習	2
ガス溶接技能講習	1
アーク溶接の業務に関する安全衛生特別教育講習	3
特別教育講習（自由研削砥石の取替等の業務）	2
高圧ガス製造保安責任者（丙種化学（特別））	2
高圧ガス製造保安責任者（乙種化学）	2
第一種衛生管理者	6
局所排気装置等定期自主検査者講習	1
衛生工学衛生管理者	1
危険物取扱者（乙種四類）	2
有機溶剤作業主任者講習	2
第一種情報処理技術者	1
第二種情報処理技術者	1
初級システム・アドミニストレータ	1
第二級無線技術士	1
第二種電気工事士	3
一級建築士	1
コンクリート技師	1
測量士補	1

※ 技術職員数：21 名（シニアスタッフ 1 名を含む）